

# あの先生は今…

## 新宅雅和先生

(元初等教育学科教授・音楽教育)

退職された先生方を訪ねてインタビューを行い、読者のみなさんに近況を紹介する名物コーナー。今回は、平成26年度3月に定年退職された音楽専門の新宅雅和先生にお話をうかがいました。新宅先生は、現在は広島大学大学院でドイツ語を専攻されており、広島大学のキャンパスで突撃取材を敢行しました!



編) 大学院に進学しようと思ったきっかけは何ですか。

新) 40年前、ドイツに留学した際、ドイツ歌曲の大まかな意味は理解できるようになったのですが、詩の本当の意味や本質を理解するところまでできなかったため、まとまった時間が取れたらドイツ語をもう一度勉強したいと思っていました。家族などから退職後のことを聞かれて、ドイツ留学のことを思い出し、学生としてドイツ語を改めて勉強しようと決めました。

編) ドイツ語に対して、昔と今では何が変わりましたか。

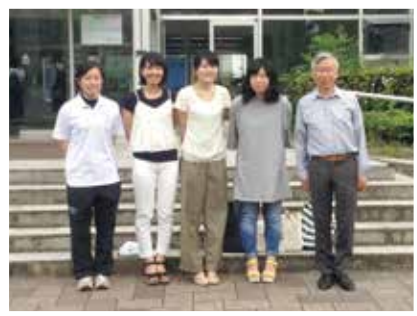
新) ドイツ語により親近感がわきました。以前は、ドイツ語が正確に分からなくてもまあいいかと思っていましたが、今は、分りたいと思うようになりました。でも、研究している歌曲の歌詞は物語のような長い文章ではなくて短いので、行間がなかなか読めなくて理解するのが難しいですね。

編) 今後の目標は何ですか。

新) 好きなこととしてドイツ語を学んでいます。まだ先の目標ですが、ドイツ語検定準1級には合格したので、1級に挑戦し、合格したいと思っています。それをドイツ歌曲の伴奏やドイツ関連の行事などに関わる時に生かしたいですね。

編) 文教生に一言お願いします。

新) 人それぞれ生き方や歩む道違うので、今ある自分を大切にしてください。悩んでいる人もいるかも知れませんが、今ある自分を大切にすることで、何をしたらいいのか、何をしなければならぬのかが見えてくると思います。



# あの先輩は今…

## 小峰祐香さん

(平成28年3月卒業・初等教育学科32期生・算数専修)

新宅先生にインタビューする日に、卒業生の小峰祐香さんともお会いし、お話をうかがいました。同じ広島大学のキャンパスで学ぶ小峰先輩にも突撃!!



編) 広島大学特別支援教育特別専攻科に行こうと思ったきっかけは何ですか。

小) 高校生のときから特別支援教育に興味がありました。専攻科を知ったのは大学2年生のときです。

教育実習に行って特別な支援を必要とする児童と出会ったとき、通常学級の担任になるにしても専門的な知識を身につけておきたいと思いました。実際に進学することを決意したのは、4年次の教員採用試験の受験を終えてからです。

編) どのようなことを学んでいるのですか。

小) 今は知的障害、肢体不自由などについて勉強中です。今後は視覚、聴覚障害について学んでいきます。

編) 今後の目標は何ですか。

小) 目の前にあるのは、今年の教員採用試験に合格することです。しかしそれは通過点であって、もっと先のことを言えば、通常学級の担任になったときに、今学んでいることをいかして実践していくことです。

編) 文教生に一言お願いします。

小) 特別支援教育について学びたいという意思があるなら、1年間という短期間で免許の取得ができ、専門の先生もたくさんいらっしゃる中で勉強できるのでおすすめです。少しでも興味があるのなら、進路の選択肢の中の一つとして考えるのもいいと思います。

# かわらばん

初教  
WARRANT  
BOARD

第18号  
2016.7.25

広島文教女子大学  
教育学会  
発行

## 感謝の気持ちを忘れずに

社会福祉法人松生会 ふたば第三保育所(島根県)  
室谷 由佳(25期生・幼児教育コース)

文教を卒業して、あっという間に月日が経ちました。振り返ってみると、これまで受け持ったどのクラスも思い出深く、子どもの顔やたくさんの出来事がよみがえります。また、年長クラスの担任をしたことで、就学前保育の大切さを肌で感じることができました。就学にスムーズに繋げるために、子ども一人一人の発達課題と向き合い、支援を行うこと。それには自分自身の保育の技量が求められますが、日に日に成長する子どもの姿が励みとなり、力となりました。たくさんの経験を積んで、保育所という小さな世界から希望に溢れた新たな世界へと旅立つ子どもの姿は本当にたくましく、輝いています。このような素敵な仕事に携われていることを、改めて幸せなことと感じます。

子ども一人一人の育ちや自分の保育について、保育士8年目となった今でも悩みは尽きず、反省ばかりの毎日です。しかし、これまでの経験で学んだことが年々活かされ、糧となり、私自身を支えてくれています。そして、私にとってもう一つの心の支えとなっているのが、悩んだ時に寄り添ってくれる、先輩保育士である先生方の存在です。答えが見つからず一人で苦しかった時に、親身になり、自分とは違った目線でアドバイスを下さる先生方に、今までたくさん助けられてきました。弱音が吐ける存在が近くにいるというこの恵まれた環境と、温かな先生方との繋がりに感謝の気持ちをもって、これからも保育の仕事が続けていきたいです。今では若い先生も増え、自分が導いていく立場になってきました。これまで私が先輩方に支えてもらったように、次は私自身が若い先生たちの支えに少しでもなっていけたらと思います。

この春より法人内の異動により、縁あって、文教の卒業生と同じ職場で働いています。随分昔のことのように感じていたかつての大学生活のことや、文教の先生方のことを思い出し、大変懐かしい気持ちになりました。若いパワーで頑張る後輩先生の姿が刺激となり、同じ卒業生として、気持ちを新たに8年目の保育士生活に奮闘しています。

そして、そんな私にいつも元気を与えてくれるのが、目の前にいる子ども達です。笑ったり、泣いたり、毎日いろいろな表情を見せてくれて、同じ日なんて決してありません。保育という仕事は違う毎日だから難しく、悩みが尽きないものですが、だからこそおもしろいのだと感じます。これから子どもとの信頼関係を何よりも大切に考え、一人の人間として真摯に向き合い、思いを共有しながら、子どもと共に成長することのできる保育士でありたいと思います。



## やりがいのある毎日

府中町立府中小学校(広島県)  
秋本 愛美(旧姓・山口、29期生)

「小学校の先生になりたい。」きっかけは小学校6年生のときの担任の先生との出会いでした。私たちの思いを大切にくださり、厳しくも温かく、そして真っ直ぐに向き合ってくださいました先生でした。そんな先生のようになりたくところから思い続け、私は夢を叶えました。現在、府中町立府中小学校で6年生32名の担任として日々戦っています!

先生という仕事は、私が考えていた以上に忙しく、この3年半本当にあっという間でした。1年目は辛いことの方が多いくらいで、家に帰って涙を流す毎日。4年目となった今でも上手いいかないことだらけです。

そんな日々の中で、私が「先生っていいな。先生になって良かった。」と思える瞬間があります。

子どもたちと運動会や学習発表会などの行事をやりとげたとき。学級がまとまり、さらに伸びようと努力する姿を見たとき。そしてできなかったことができるようになった子どもたちの最高の笑顔を見たとき。日々の疲れや悩みが吹っ飛ばぐらいにうれしくなるんです。悩むことはたくさんですが、元気の源はやはり目の前にいてくれる子どもたちの存在です。ドラマある職業だと言われますが、本当にその通り!! 子どもたちが大好きです。

支えてくださる同僚の先生方、温かく見守ってくださる保護者の方々、ほっとする時間を与えてくれる家族や友達、そして元気をくれる子どもたちに感謝しながらこれからも素敵な先生を目指し頑張ります。「学校が好き!! 自分を認めてもらえる場所! 楽しい!」子どもたちにそう感じてもらえるような学級経営に努めます。

初心を忘れず、自分らしさも忘れず、いつでも真っ直ぐに子どもと向き合い、目標をもって子どもとともに成長し続けられるたくましい人間でありたいです!



# 活躍する卒業生





# 新人の先生にインタビュー!



たなか たかのり  
**田中 崇教 先生**

今年度から、教育・保育学を担当されることになった**田中崇教(たなか たかのり)**先生にインタビューをしました。田中先生は、幼児教育コースのご担当であり、1年生のチューターでもあります。田中先生に突撃!!

Q) 先生のご出身は?

田中) 山口県山口市です。高校は、前任の徳本先生と同じ出身校です!

Q) いつ広島文教女子大学に来られたのですか?

田中) 今年の4月に、香川県の高松短期大学から赴任して来ました。単身赴任です!

Q) はじめて文教に来た時の初等教育学科の印象はいかがでしたか?

田中) 学生たちが積極的で、いろいろなことに取り組んでいるなと思いました。

Q) 先生の担当科目は何ですか?

田中) 保育原理(2年生)、幼児教育課程論(主に2年

生)、教育原理、人間関係、保育内容総論、保育内容演習、教職実践演習(幼教用)、幼稚園実習、保育実習を担当しています。

Q) 先生の趣味は何ですか?

田中) 週末に香川県の自宅に戻り、自分の子ども(男の子、4歳・年少)と遊ぶことです!

Q) 文教のいいところは何かと思いますか?

田中) 自然が豊かで、桜が綺麗なおとこ(笑)。

Q) なぜ大学の先生になろうと思ったのですか?

田中) 自分の専門分野(教育哲学・思想史)の深いところまで研究を深めていこうと思ったので、大学の先生になろうと思いました。



## 絆 ~ 体育専修ぶち同窓会について

初等教育学科18期生 鹿島 幸さん

1998年に出会った初教18期の仲間たちが、それぞれの地に旅立って十数年。ふと、みんなどうしているかな……会いたいな、先生方はお元気かな……という想いが膨らみ、「体育専修ぶち同窓会」を企画しました。

第1回は2011年。先生と仲間と感動の再会でした。思い出話をしたり、結婚や子育て・仕事の相談など深い話で盛り上がり、とても充実した時間を過ごせました。この会が私たちの日々のエネルギーになる!と、私たちがおばあちゃんになるまで、毎年参加できる者で気楽に続けていくことになりました。

第5回の昨年は、体育専修から輪を広げて声をかけたところ、他専修からも参加がありました。教職に就いた仲間、企業で働いている仲間、子育てに専念している仲間…今ある状況は様々ですが、会った瞬間、学生時代にタイムスリップ! 変わらないノリと気を遣わなくて良い会話でとても居心地が良く、そこにいるだけで心が満たされていくようでした。またこの会は、子どもたちも大集合。付き添いの夫同士の輪も広がり、家族ぐるみの付き合いが始まりました。こうして家族までもつながることのできる同窓会はなかなかないと思います。

毎年この会のたびに、参加したみんなが声をそろえて言います。「私たちの絆は強いね! 素敵な仲間と出会えたよ! 文教・初教は最高だね!!」

学生時代の絆に加え、また新たな強く深い絆ができています。素敵な出会いの場を作ってくださった文教、そして初教。この学校を選んで、この学科に入って、本当に良かったと思います。

今、文教で学んでいる学生のみなさん、出会いを大切に。きっと強い絆になるでしょう。今を頑張っている卒業生のみなさん、仲間と集ってみてはいかがですか。きっとみなさんのエネルギーになりますよ。私たちはこれからも仲間を大切に、そして集っていこうと思います。

※今年は8月にかんぼの郷庄原にて開催予定です。



<第1回~2011年>



<第3回~2013年>



<第5回~2015年>

## 淳風寮ってこんなところ!!

初等教育学科の学生もたくさんお世話になっている本学の淳風寮。今回は、初教の寮生に、寮での生活について聞いてみました。舎監の先生からもメッセージをいただきました!

### ★人気の献立ランキング

- 1位 ドライカレー
  - 2位 ハンバーグ
  - 3位 グラタン・わかめごはん
- ※他にも… ● スイスサラダ  
● 中華セルフバイキングなどなど  
美味しいメニューが沢山!



### ★寮のいいところは……?

- 1位 友達が増える。寂しくない。
  - 2位 友達や先輩と一緒に勉強できる。
  - 3位 学校に近い→5分前に起きても学校に間に合う。→空きコマに寝られる。
- ※他にも… ● 誕生日の日に0時に祝ってもらえる!  
● 虫が出てもみんなで協力して退治!  
● みんなで恋愛ドラマで盛り上げられる!



### ★メッセージ(舎監の藤田勉さんから)

会うたびに元気に挨拶をしてくれたAさん、コツコツと頑張っていたBさん、悩みを抱えても前を向いて歩いてきたEさんなどなど、一人ひとりのみなさんの様子が目に焼き付いています。ゆっくり話の出来ない日々ですが、今を真剣に生きている淳風寮のみなさんが幸福になってほしい。舎監のただ一つの願いです。

### ★思い出に残っていること(舎監の山中真澄さんから)

最も心に残っているのは、いつも4年生の方が卒業してゆく時とてもきれいに装い、幸せそうな顔で旅立っていくことです。

## 編集後記

新しい学科スタッフ、編集スタッフも加わりとともに、卒業生や退職された先生にもスポットを当ててみました。心機一転&温故知新! これからも初教、かわらばんをよろしくお願ひします。ホッポー!

(IS)



### 平成28年度 初教スタッフ (五十音順)

今崎 浩/上村 加奈/大野内 愛  
岡 利道/川西 正行/黒木 晶子  
黒田 愛乃/白石 崇人/佐伯 育郎  
杉山 浩之/田頭 穂積/高橋 泰道  
田中 崇教/橋村 勝明/牧 亮太  
村上 典章/森 哲之/森下 要治  
吉田 裕午/善本 桂子

### 平成28年度 初教かわらばん編集スタッフ

川西 正行/上村 加奈/佐伯 育郎  
黒田 愛乃/衛藤 麻衣/大久保知香  
國岡 晴香/小島 紗耶/是永 早紀  
佐々木夏恋/中島 裕美/平田 真菜  
榎 梨花/瀬戸理恵子/益田 千裕  
水口 可奈/植松 伶奈/江本友梨香  
大瀧 光幸/佐伯 友衣/高垣 佳歩  
竹本 優香/豊岡 菜月/樋口 瑞宝

次の要領で原稿をお寄せ下さい。掲載分につきましては、薄謝進呈。

- 分量 800字程度
- 写真 1~2枚
- 送り先 〒731-0295 広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 佐伯育郎宛 または isaeki@h-bunkyo.ac.jp



おたよりください!

## Letter 卒業生 からのちより

### 26期生 中湯 ありまさん (旧姓:宮本) (鳥取県八頭郡)

昨年から任期付短時間勤務保育士として鳥取市の保育園に務めています。今年結婚して、今、お腹に赤ちゃんがいます。初めてでドキドキですが、出産がんばります。

### 29期生 多田 佑里恵さん (愛媛県越智郡)

昨年度と同じ学校ですが、今年度はたつた一人の2年生の担任をしています。授業など苦勞することもありますが、毎日楽しい学校生活を送ることができています。また大学にも遊びに行かせてもらいます。

### 25期生 下本 美希さん (旧姓:長谷川) (広島県広島市)

今年度は特別支援学級の担任をしています。「特別支援教育は教育の原点」と言われますが、本当にその通りだと思えます。一人一人の子と向き合い、関わっていきたくです。

### 22期生 小鉢 晶子さん (長崎県長崎市)

児童養護施設に勤めて今年で10年目です。子ども達の日々の成長や立派に自立し頑張っている姿を見て、とてもやりがいのある仕事だと、つくづく感じています。

### 31期生 岡田 理奈さん (岡山県倉敷市)

地元小学校で3年生29人の担任として頑張っています。自然いっぱいの子も達も教員も元気が学校です!!

### 30期生 石原 司奈子さん (鳥取県松江市)

3歳児21名を担任しています。可愛い子どもたちから日々パワーをもらってがんばっています。

### 28期生 多久和梢さん (鳥取県出雲市)

毎日あわただしく過ごしています。今年初任研で毎日何が何だか分からず過すています(笑) なんとか一年やっていきたく思います。

### 25期生 黒田 綾子さん (旧姓:大山) (広島県尾道市)

私は相変わらずです!個性的でパワフルな4年生29名と一緒に過ごしています。生徒指導・学習指導と日々悩んでいます。児童・保護者と着実に心の距離が近く近づいているのが実感しています。

